

各 位

2025年11月1日

九州史学会  
委員長 清水 和裕

## 2025年度九州史学会大会のご案内

拝啓 皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

来る12月13日（土）・14日（日）に2025年度大会を開催いたします。ご多忙とは存じますが、ふるつてご参加くださいますようお願い申し上げます。

今年度は、対面とオンラインを併用したハイフレックスでの開催といたします。

参加ご希望の場合は、12月12日（金）までに、参加登録フォームからのご登録および参加費の銀行振込をお済ませください（12日時点で事務局が入金を確認できる必要があります）。登録人数が上限に達した場合は、先着順にて締め切らせていただきますので、なにとぞご了承ください。

今年度の大会参加費は、一般参加者は有料（1,000円），学部生（大学を問わない）は無料です。

当日、会場での現金決済による参加申込は受け付けかねますので、ご協力のほどお願いいたします。

オンライン会議室と大会発表要旨資料が掲載されたURLは、参加登録と銀行振込を完了された方に、大会前日にメールにて配信する予定です。

敬具

### 参加登録フォーム

<https://forms.gle/6ojaCywbcD2mCPtc6>

（九州史学会のHPにもURLを記載しております）

以下のQRコードからもアクセスできます。



振込先

福岡銀行 箱崎支店 普通 0600089

キュウシュウシガクカイ ダイヒヨウシャ モリヒラ マサヒコ

## プロ グ ラ ム

### 12月13日（土）シンポジウム

#### 「日本古代における地方行政単位の成立—筑紫国造・糟屋屯倉と糟屋評」

(オンライン定員100名：Zoom, 大講義室I)

13:30	開会挨拶		
13:35	趣旨説明・磐井の乱後の諸変動 —筑紫国造と地域社会の実態を考える—	九州大学	辻田 淳一郎
14:15	磐井の乱後のミヤケと九州北部 —糟屋屯倉・那津官家を中心に—	早稲田大学	田中 史生
14:55	糟屋評衙阿惠官衙遺跡の成立について	柏原町教育委員会	西垣 彰博
15:25	春米連広国の出自	九州大学名誉教授	坂上 康俊
16:10	討論・質疑・総括		

### 12月14日（日）研究発表

#### <日本史部会> (オンライン定員 100 名 : Zoom, E-A-117 教室)

10:00	『門司文書』所収「中原氏・門司氏系図」の基礎的研究 —中原広宗流を中心に—	福岡大学	堺 哲平
10:40	「禰寝侵攻一件」と薩隅・薩南海域情勢	九州大学	窪田 頌
11:20	古賀穀堂の「惣領除」と「名跡相続」	九州大学	井上 修平
12:00	旧斗南藩士族の結集 —復禄請願運動の成功事例に注目して—	福岡大学/九州大学	角 英里華
12:40	象徴天皇制下における外交儀礼の整備過程	上智福岡中学高等学校	前田 修輔

#### シンポジウム 「九州大学日本史学研究室の100年」

14:00	趣旨説明	九州大学	岩崎 義則
14:05	国史学研究室の戦中・戦後 —「田村圓澄日誌」に見る—	九州大学	藤岡 健太郎
14:30	日本史学研究室所蔵資料のアーカイブ化 —講座史から研究室史へ—	九州大学	荒木 和憲
14:55	日本史学研究室の現代史	九州大学	国分 航士
15:20	日本史学百年史点描	九州大学名誉教授	佐伯 弘次
15:50	総合討論（司会：東京大学 山口輝臣）		

**<東洋史部会>** (オンライン定員100名: Zoom, E-B-102教室)

10:00	民国期の広西における教育督導制度の運用とその歴史作用	中央民族大学	任 稔
10:25	東魏北齊期における朝鮮半島諸勢力への称号授与	中央大学	廖 昙
10:50	北宋熙寧末における越州宝林寺の再建	龍谷大学	藤本 幸音
11:30	「敬畏」から「運用」へ —南宋文人の星占に関する態度の転換—	大阪公立大学	張 之
11:55	万暦初年、陝西南部における「西番」叛乱とその背景	九州大学	新藤 倫太郎
13:20	明清徽州宗族文書から見る宗族の起源と展開	龍谷大学	赤羽 孝文
13:45	浙閩総督張存仁『忠勤公稿』考証 —順治初年の東南沿海統治をめぐる新史料—	九州大学	劉 明鍇
14:10	元朝の科举制度と高麗における理学士人集団の形成	四川文理学院	張 澍
15:00	明清時代における廣東香山県の水路ネットワーク —古地図を中心とした考察—	澳門科技大学	夏 敏
15:30	歴歴と鐘鳴を聴き 当に知るべし帝城に在るを —北魏洛陽の音の風景(サウンドスケープ)—	中央大学	阿部 幸信
16:05	徽宗・欽宗二帝の梓宮送還をめぐる宋・金の交渉始末	全北大学校	金 成奎

**<朝鮮学部会>** (オンライン定員100名: Zoom, E-A-118教室)

10:00	『月峰海上録』内容再考 —『万死錄』と『丁酉避難記』の関係について—	国際日本文化研究センター	劉 洋
10:45	新史料「出動日記」から見る薩摩藩の朝鮮通事	元鹿児島国際大学教授	井上 和枝
11:25	太平洋戦争期における朝鮮婦人の指導と大日本婦人会朝鮮本部	長崎外国语大学	千 受珉
13:00	高麗景靈殿・真殿寺院の整備と宋	神田外国语大学	豊島 悠果

**特集 <前近代朝鮮における“自分事”としての国際関係>**

共催：九州大学韓国研究センター・韓国国際交流財團助成事業〈多元的・多角的な日韓関係発展のための総合的政策研究〉

13:40	趣旨説明	九州大学	森平 雅彦
13:45	国内統合とディアスボラ —統一新羅の統合政策と百濟・高句麗遺民問題—	早稲田大学	植田 喜兵成智
14:35	「華風」好みのリアリスト —高麗王朝の外交と文化意識—	神田外国语大学	豊島 悠果
15:15	外国商人は入るべきか —朝鮮後期の国際通商—	東京大学	辻 大和
16:00	討論		

**<西洋史部会>** (オンライン定員100名: Zoom, E-B-101教室)

13:00	フランス第二帝政期における鉄道と皇帝巡幸	九州大学	尾林 克幸
13:50	前307/6年作成P. BM EA 10252『侵略者を追放するための儀式』の秘密の解釈における「翻訳」の意義	広島大学	宮本 彩芽
14:35	9-10世紀のアイルランド島とスカンディナビアの人びと —石造物の図像表現に着目して—	立命館大学	土佐 真理子
15:20	16世紀教皇庁遺言書にみる都市ローマの外国人聖職者 —ナティオの枠を越えた結びつき—	大阪大学	谷 香里奈
16:05	初期中世移行期のラヴェンナの農地構造について	大分大学	城戸 照子

**<イスラム文明学部会>** (オンライン定員100名: Zoom, E-A-105教室)

10:00	オスマン帝国末期における帝国海軍工廠労働者の社会関係と日常 —親方・子方関係、生活圏、労働運動—	東京大学	伊藤 匠平
10:40	オスマン朝とエジプト州 —16世紀におけるマムルーク朝遺臣系在地有力者に着目して—	東京大学	高田 虎太朗
11:30	後ウマイヤ朝下辺境地域における代官と軍司令官	北海道大学	中川 流衣
12:10	初期アッバース朝宮廷における意思決定	弘前大学	亀谷 学
13:50	「異端」へのまなざし —『惡魔崇拜者』に見る末期オスマン朝とイエズィーディー—	京都大学	岩本 佳子

**シンポジウム 「中世・近世のイラン地域（ペルシア語文化圏）における支配と交渉」**

14:30	趣旨説明	お茶の水女子大学	阿部 尚史
14:35	イルハン朝下イランにおける「奴隸」の支配と文書による交渉 —13-14世紀ハラム文書におけるモンゴル・アミールへの「隸属契約文書」—	東京大学	渡部 良子
15:15	シャー・アッバース1世の聖者廟參詣と蔵書寄進 —十二イマーム派イマームに帰せられるクーフィー体クルアーン古写本の分析を中心に—	東京外国语大学	神田 唯
15:45	18, 19世紀サフィー=アッディーン廟による交渉 —請願と勅令から—	お茶の水女子大学	阿部 尚史
16:15	コメントおよび総合討論		

**<考古学部会>** (オンライン定員100名: Zoom, E-B-112教室)

- |       |  |              |       |
|-------|--|--------------|-------|
| 10:00 | 弥生時代における再埋葬<br>—九州北半部を対象として—                   | 九州大学         | 舟橋京子  |
| 10:50 | 飯塚市川島殿ヶ浦遺跡について<br>—立岩遺跡群における石器生産との関連性をめぐって—    | 新潟大学         | 森貴教   |
| 11:30 | 弥生時代後期の石庖丁製作技術の変容と「鉄器化」との関係について<br>—九州・四国を対象に— | 奈良県立橿原考古学研究所 | 松尾樹志郎 |
| 13:10 | 水晶製・ガラス製玉類にみる日韓交流<br>—原三国時代の韓半島南部出土資料の検討から—    | 奈良文化財研究所     | 谷澤亜里  |
| 13:50 | 弥生時代人と古墳時代人の頭蓋骨顔面部形態の比較<br>—九州を中心として—          | 福岡市経済観光文化局   | 田渕朱莉  |
| 14:40 | 花立山古墳群及び城山古墳群の評価<br>—北部九州の大型群集墳との比較から—         | 小郡市教育委員会     | 杉本岳史  |
| 15:20 | 遼代契丹墓出土馬装具についての一考察                             | 九州大学         | 鈴木舞   |